

3日 土曜

マルコ

11:20 さて、朝早く、彼らを通りがかりにいちじくの木を見ると、それは根元から枯れていた。

11:21 ペテロは思い出して、イエスに言った。「先生、ご覧ください。あなたがのろわれた、いちじくの木が枯れています。」

11:22 イエスは弟子たちに答えられた。「神を信じなさい。」

11:23 まことに、あなたがたに言います。この山に向かい、『立ち上がって、海に入れ』と言い、心の中で疑わずに、自分の言ったとおりになると信じる者には、そのとおりになります。

11:24 ですが、あなたがたに言います。あなたがたが祈り求めるものは何でも、すでに得たと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。

11:25 また、祈るために立ち上がるとき、だれかに対し恨んでいることがあるなら、赦しなさい。そうすれば、天におられるあなたがたの父も、あなたがたの過ちを赦してくださいます。」

11:26 【本節欠如】

11:27 彼らは再びエルサレムにきた。イエスが宮の中を歩いておられると、祭司長たち、律法学者たち、長老たちがやって来て、

11:28 こう言った。「何の権威によって、これらのことをしているのですか。だれがあなたに、これらのことをする権威を授けたのですか。」

11:29 イエスは彼らに言われた。「わたしも一言尋ねましょう。それに答えなさい。そうしたら、何の権威によってこれらのことをし



ているのか、わたしも言います。11:30 ヨハネのバプテスマは、天から来たのですか、それとも人から出たのですか。わたしに答えなさい。」

11:31 すると、彼らは論じ合った。「もし、天から来たと言えば、それならなぜ、ヨハネを信じなかつたのかと言うだろう。」

11:32 だが、人から出たと言えば――。彼らは群衆を恐れていた。人々がみな、ヨハネは確かに預言者だと思っていたからである。

11:33 そこで、彼らはイエスに、「分かりません」と答えた。するとイエスは彼らに言われた。「わたしたしも、何の権威によってこれらのことをするのか、あなたがたに言いません。」

いちじくのことからイエス様は祈りのことを教えました。このように、主はそのときの私たちの身の回りの出来事や関心事から教えてくださるのです。今は何も求めることははない...などと言って、祈りを怠ることなく、毎日主が語ってくださることとに耳を傾けましょう。それがティポーションです。

このように主は生きておられますから、自分の都合で終わらせないで、主の主題で生きましょう。自分で考えに入れていなくても、主が求めておられることがあるのです。赦しもその一つです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は赦おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

